



かざぐるま



ジュニアリーダーサマーキャンプ

開成町青少年指導員連絡協議会

会長 田村 彰偉

日頃より、青少年指導員の活動にご理解、ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

今年度は、青少年指導員の一部メンバーが交代し、また、長年実施してきた事業の見直しを行いました。メンバーと事業内容がリフレッシュしましたが、あじさいまつりでのかざぐるま作りやジュニアリーダーサマーキャンプ等、多くの子どもたちに体験活動の場を提供することは変わりません。

私たち青少年指導員は「子どもたちと一緒に自分たちも楽しむ」を合言葉に活動しています。

イベントに参加した子どもたちから「楽しかった、また参加したい」との声を聞いたり、かざぐるまが上手に回った瞬間の笑顔を見たりするたびに、前日までの苦労や当日の疲れを忘れるくらい嬉しく思います。

今年度のジュニアリーダーサマーキャンプは45名の募集に対し、70名以上の申込みがありました。こんなにもたくさんの子どもたちが参加したいと思ってくれると思うと、全員に参加してもらいたかったのですが、残念ながら抽選で参加者を決めることになってしまいました。来年度のサマーキャンプで皆が楽しめるような企画はどうしようかと今からワクワクします。

サマーキャンプだけではなく、その他の事業でも、新しく加わった仲間の意見を取り入れたり、子どもたちが楽しんで参加・体験ができるようなプログラムを企画していきたいと思いますので、今後ともよろしく願いたします。

7月 ジュニアリーダーサマーキャンプ

0日目

キャンプの前の週に説明会がありました。つまりキャンプ0日目、この日からキャンプが始まっているのです。行程や持ち物の説明・注意事項を聞いた後、リーダー・副リーダーの選出でたくさんの方が挙がってびっくりしました。今年のリーダーは伊藤幸太さん、副リーダーは水野蓮さんと片岡夏歩さん。キャンプファイヤーの出し物の話し合いました。知らない人もいるけど友達になれるかな？



1日目



7月13日(土) 朝、役場に集合して出発式です。井上教育長がみんなの元気バロメーターを測ってくれました。結果は満点！バス2台に分乗して「いつてきまうす！」

1時間ほどで富士山のふもと御殿場市の「国立中央青少年交流の家」に到着しました。入所式で「挨拶をすること」「きれいに使うこと」などを施設の方から教わります。

昼食はやくそぼ。火付けに苦労する班、「野菜どどん切れ切れ！」の班、「今までの人生でこんな大量の麺を炒めたことはありませんでした！」と叫ぶ班。それぞれの焼きそばが出来上がりました。あお

のりをいっぱいかけて「いただきます！」

食べたあとはお皿を洗いますが、鉄板も洗うのです。「こんな大きな鉄板を子どもが洗うの？」とびっくりしましたが、みんな頑張ってキレイに磨けました。

昼食後にディスクゴルフのレクリエーション、みんな上手です。しかし、コースにおいしげる草木がディスクをのみこむのです。草木をかき分けてのディスクの探索探険もおもしろかった！

ディスクゴルフ終了間際に雨が降り出しました。キャンプファイヤーできるかな、と心配している間もなく、今度は夕飯のカレーを作る準備です。小雨の影響で、お昼より着火が難しい。何度も薪を組



み直してトライ、煙のよけ方も上手になりました。

うちのカレーのジャガイモはどんな形だっけ？にんじんはもつと小さかったかな？などなど話しながらカレーを作り、ごはんも炊いて、ようやく最高のカレーライスが出来上がりました。いただきます！おかわり!!



夕飯のあとは小雨がやんで、お楽しみのキャンプファイヤーです。火の神と火の子たちがおごそかに入場して着火の儀式をします。みるみるうちに大きくなる炎にみんなのワクワクが止まりません。班ごとの出し物は、クイズや借り人競争など盛りだくさん。おしまいにみんなでジェンガをおどってクタクタです。さあ、お風呂に入ってとつとと寝ましょう。明日はトレッキングですよ！(おこめちゃん)

「サマーキャンプ」

開成南小学校6年

伊藤 啓汰さん

ぼくはジュニアリーダーサマーキャンプに行っていたいんだなと思います。

最初は昼の屋外すいじです。特にたいへんだなと思ったのは火起こしです。なぜなら周りの班に比べて全然大火が付かず、ご飯を作るのがおくれ、あせったからです。この時に周りの班の人がアドバースにきてくれたり、いっしょにやったりして手伝ってくれました。こうして知らない人たちとも仲がよくなっていきました。

二つ目は、キャンプファイヤーです。キャンプファイヤーの出し物をする時になかなか全体をまとめられなかったため、来年もこれたらこの能力をつけていきたいです。

三つ目は、富士山の近くの山にのぼることです。初めて砂利だらけのしや面を歩いてきつかったです。がんばって歩いている時に他の人ともコミュニケーションが取れて一段と仲が深まりました。

ぼくは来年もジュニアリーダーサマーキャンプに行きたいです。そして今年できなかったことをできるようにがんばりたいです。



20目

さあ、キャンプも2日目に突入しました。起きて外に出てみると雨模様…

そんな天候にも負けず、前日消灯時間まで楽しく元気に遊んでいた子どもたちは早朝でも変わらず元気です。ふとんを片付け、これから朝食に向かいます。朝食中は昨日行動を共にしたこともあり、各班のテーブルからは楽しそうな声がたくさん聞こえてきました。

学校や学年の違いから、普段なかなかコミュニケーションをとることが少ない仲間同士でも、一体感を深めることができていて何よりでした。



さて、富士山双子山トレッキングに挑戦です。登山口の前まで来ても天候不良は変わらず…予定変更もやむなしかと思われていた中、なんと突然雨が止み日差しが！「ここまで来たのだから登りたい」そんな子どもたちの願いが天に通じました。

さあ、いざトレッキング開始。初めて参加する子どもたちも参加経験のある子どもたちも砂利道の洗礼を受けます。登り始めるといきなり雲で日差しが陰り、霧が出てきたと思いきやまた日差しが出てくるなど山の天気は一同四苦八苦。道を進むにつれて指導員や子どもたちみんな互いを励まし、鼓舞し合います。そんな困難を乗り越えて、ついに双子山の頂上。到着にこそ

時間は要したものの、みんなが頂上に到達することができました。先に着いた子どもたちが、遅れて登ってくる仲間たちに声援を送っていて、とても気分よくみんな登ることができたと感じます。

みんな登り終えた後、子どもたちに感想を聞くと、「道は大変だったけど登りきることができて嬉しい」「頂上の景色はすごかった」など達成感に満ち溢れ、非常に有意義な時間を過ごせたと感じました。

右下の集合写真は一泊二日のジュニアリーダーサマーキャンプを終えての一枚。みんな達成感に満ち溢れている顔になっていますね。



解散の際には参加した子どもたちから感謝の言葉や来年も参加したいなど嬉しい言葉も頂きました。私自身も指導員として初の参加だったので、子どもたち一人一人が非常に意欲的で、何事にも一生懸命な姿から、こちらとしても非常に多くの学びを子どもたちから得られたと考えています。

ぜひ来年も指導員一同、皆さんの参加をお待ちしています。2日間、お疲れ様でした！

(しゅうま)

「サマーキャンプ」

開成小学校6年

伊原 梨菜さん

私は、このジュニアリーダーサマーキャンプで自然とふれ合い、自然の大切さを知りました。例えば、富士山の頂上までのぼりきった時のたっせい感や班のみんなでカレーやきそばを作った時です。木や新聞で火をもらっているときに「木」はとても生活が必要(大事)なんだなあと感じました。その自然の中で友達と協力して作ったり、何かをすることはとてもいいこと(大事)なことだと分かりました。同じ班の人と協力してカレー、やきそばを作ったのが印象に残りました。火についての使い方も分かりましたし、火のおこし方も分かりました。自然とはどういふものなのかもよく分かりました。

そして、一番大事だと思ったことは自分から行動することです。理由は自分から周りを見て行動するのはとてもいいことだと思ったからです。

外でやったディスクゴルフもむずかしかったけどよくできました。特に3か4番目のステージがすごくよくできたと思います。今回のジュニアリーダーサマーキャンプを通して、色々なところで活かせたいと思います。

11月 ジュニアリーダー研修

11月2日(土)ジュニアリーダー研修を行いました。

小学4年生から中学3年生まで37人が参加しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、みんな元気いっぱいであ町役場に集合しました。

まずは七沢自然ふれあいセンターに向かいます。

バスの中では遠足気分。子どもたちは乗車してすぐにお菓子を広げて、さながらパーティーでした。

七沢自然ふれあいセンターでは、アイスブレイキングゲームをした後、ここでは巨大鍋を使って60人分のパエリアを一度に作ります。

班毎に分かれて、野菜や肉を切ります。包丁を使う事は苦手かなうと思いましたが、安心して見守ることができました。

各班で分担して切った肉や野菜が集まったら、巨大鍋に集め、スタッフの方の説明を聞き、大きなしゃもじを使って、炒める作業に入りました。最初は具材が少ないので、力のない子が炒めて最後にお米が入ったら、かき混ぜるのに力要するので、高学年の子どもたちが率先して炒めました。

やはり巨大鍋で作ったため、とても美味しく、私もおかわりました。

次に愛川町の愛川繊維会館に向かい、藍染体験です。割りばしと輪ゴムを使って、真っ白なバンダナに模様を作ります。基本の模様の作り方は先生から説明を聞き、私だけのオリジナル模様を作りたいと積極的にチャレンジする子もいました。いくつかの工程を踏んで、本当に模様のバンダナができるのかと楽しみと不安でしたが完成し、皆個性あふれた模様に出来上がっていました。

同じ町内で違う学校の子ともたちが交流する機会は滅多にない企画なので、今回参加できなかった方はぜひ来年お待ちしております。(きよちゃん)



3 班



2 班



1 班



藍染体験で作ったオリジナルのバンダナ。いろいろな模様がステキだね♡

6 班



5 班



4 班



6月

手づくり広場
かざぐるまづくり

6月8日(土) 開成町あじさいまつりが開催されました。青空に恵まれ色とりどりのあじさいが咲き誇る中で、手づくり広場恒例の『かざぐるま作り』を行いました。今年は、例年の場所と違って少し離れた会場でしたが、たくさんの方々が足を運んで下さりました。指導員全員嬉しい気持ちで楽しく作業に取り組む事が出来ました。

体験に来て下さった方々には先ず材料を受け取って頂き、それぞれの作業場へ案内された後、指導員から説明を受けながら、かざぐるま作りをしてもらいます。親子連れ



や仲良しご夫妻、お友達同士の皆様が真剣に話を聞いて下さり、楽しそうに作っている様子を見てみると、とても幸せな気持ちになります。かざぐるまが出来て、くるくると回った瞬間の皆さんの顔が一番素敵！そのお顔を見るのが嬉しい！満面の笑顔のまま、最後の工程、カラフルな色付けをして完成です。

今年来て下さった皆様はまた是非！まだ来た事がない方は一度体験をしてみませんか？指導員一同、皆さんにお会いするのを心よりお待ちしております。
(かっちゃん)

10月

スポ・レク
フェスティバル

10月6日(日)、朝からの雨も10時過ぎには上がり、開成水辺スポーツ公園でかいせいスポ・レクフェスティバル2024が開催されました。青少年指導員は、午前にわなげとフライングディスクゴルフ、午後にスポーツ吹き矢とダーツを担当しました。

どの競技も子どもから大人まで一緒になってチャレンジし、外れると残念がり、入ると大喜びして、暑さを忘れてゲームを楽しんでいました。あまりの人気で指導員は休み暇もないほどでしたが、楽しい時間を過ごすことができました。
(みつきー)



11月

3世代交流
パークゴルフ大会

開成町青少年指導員連絡協議会の事業で、昨年惜しまれながらも終了した、中学生地域交流ゲートボール大会。代わりとなる事業を検討しており、今回、開成町パークゴルフ協会等とパークゴルフ大会を共催しました。

9月と11月にパークゴルフ体験教室に参加して、ホールインワンを出した指導員もいました。

11月30日(土)の開成町3世代交流パークゴルフ大会では、小学3年生、中学生、高校生から65歳未満、65歳以上の3世代でのチーム編成で行われました。

参加チームは14チーム、総員56名が参加し、青空のもと楽しくパークゴルフが出来ました。

今後も開成町パークゴルフ協会をはじめ、皆様のご協力で、このような楽しい行事が出来る事を望んでおります。

(なみなみ)

一
声
人
声

通常の生活が戻りつつある中で、青少年指導員の活動も順調に進めることが出来ております。

今まで、活動に申込された子どもたち全員を参加出来るように調整をしておりましたが、申し込みの方が大幅に増えて抽選をしなければならぬ活動もあり、嬉しくも申し訳ない気持ちでいっぱいです。

参加出来なかった子どもたちは次回も申込をお願いします。

活動で子どもたちの笑顔を待っています。



第29期 青少年指導員の紹介&新指導員あいさつ

■会長 田村 彰偉 (下島) ■副会長 小原 康晴 (下延沢) ■副会長 井上 和彦 (円中)
 並木 浩 (上島) 石塚 一恵 (宮台) 山口 共子 (榎本) 高崎 俊幸 (中家村)
 森山 善哉 (中家村) 林 幹倫 (上延沢) 井上 桂子 (下島) 瀬戸 道博 (岡野・金井島)



石井 俊馬 (バレット・5列目真ん中)
 新任ということで当初は不安もありましたが指導員の先輩方からの助言を受け、とても充実した活動ができています。私自身も日々成長し、子どもたちとの町が共に成長していけるような活動にしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



湯川 千夏 (上延沢・1列目左)
 先輩指導員の皆さんにいろいろ教えていただき、4月から楽しく活動に参加させていただいています。子どもたちとの出会いも大切に、楽しい経験と、子どもたちにたくさんの自信が身につくように、一緒に活動していきたいです。

加藤 峰男 (河原町・3列目真ん中)
 私自身が久しぶりの新人枠でドキマギしており、先輩指導員の様な活動は出来ませんが、イレギュラー枠でよろしくお願いします。又、青少年指導員活動での学びを通じて子ども達と一緒に成長したいと思います。

露木 清貴 (牛島・3列目右)
 始めは『自分に何ができるのだろうか?』と不安でしたが、諸先輩方からご指導を頂きながら、一歩ずつですがお手伝いできればと思っています。開成の子どもたちが色々な経験ができますよう、陰ながら支えていきたいと思っています。

青少年指導員活動を終えて

前指導員3人に「ごあいさついただきました。ありがとうございました。」
 (敬称略)

山本 美由紀 (上延沢)

私が青少年指導員として活動を始めたのは、コロナ禍の真っ最中でした。当初はすべての活動が停止、何ができるか話し合いを重ねる日々でした。それでも感染対策を徹底しながら、子どもたちに笑顔と貴重な体験を届けることができ、本当に良かったと思います。

創意工夫により、毎回違った体験を子どもたちと共に楽しめたことは、大切な思い出です。時間を共有した指導員の皆様には、心から感謝申し上げます。これからの青少年指導員のご活躍をお祈りしています。

綾部 幸雄 (河原町)

短い間でしたが、諸先輩方の指導のもと青少年指導員として活動し、子どもたちとの接し方を学びました。私には大きな学びのひとつと成りました。子どもたちがいる学んで成長できるよう今後も青少年指導員の方々の活躍をお祈りします。ありがとうございました。

村上 圭司 (牛島)

コロナ禍の3年間、なかなか参加出来なかったのですが、何度か子どもたちとふれあい元気な子どもたちをみる事が出来ました。夜間パトロールなど貴重な体験もありました。子どもたち指導員の皆さんありがとうございました。

募集しています！ジュニアリーダー

青少年指導員事業をお手伝いしてくれるジュニアリーダーを募集しています。現在、高校生から大学生がサマーキャンプ、ジュニアリーダー研修など、子どもたちと一緒に楽しく活動しています。興味がある方はご連絡ください。



大学生の原田淳平さん

生涯学習課

☎0465-84-0325



編集後記

今年度も予定通りに全ての行事を無事に遂行できました。これも皆様方のご協力があったものであり、大変感謝しております。

3年前のコロナ禍と比べ、次第にマスクの着用も緩和され、子どもたちの様々な笑顔を何回も見ることができました。やはり、子どもたちは外ではしゃぎながら、友達と遊んでいることが楽しく、うれしいんだなと感じました。

また、来年度も行事を行っていきまので、ぜひ参加していただければと思います。

今後とも青少年指導員の活動をよろしくお願いいたします。

編集長 井上 和彦